

平成28年 予算審査特別委員会 会議録

招 集 年 月 日	平成28年 3月15日 (火曜日)			
招 集 場 所	伊江村議会議事堂			
開 議	3月17日 10時00分 渡久地政雄委員長宣言			
閉 会	3月17日 10時54分 渡久地政雄委員長宣言			
出 席 委 員 (応 招 委 員)	1	島 袋 義 範 委 員	7	渡久地 政 雄 委 員
	2	島 袋 勉 委 員	8	亀 里 敏 郎 委 員
	3	山 城 善 彦 委 員	9	知 念 一 邦 委 員
	5	内 間 広 樹 委 員	10	名 嘉 實 委 員
	6	仲宗根 清 夫 委 員	11	内 田 竹 保 委 員
欠 席 委 員				
本会議に職務のため出席した者の職氏名	議会事務局長 島 田 勝 雄 君 主 査 知 念 一 史 君			
地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	村 長	島 袋 秀 幸 君	副 村 長	名 城 政 英 君
	政策調整室長	宮 城 弘 和 君	総務課長	内 間 常 喜 君
	教育行政課長	大 城 強 君	建設課長	並 里 晴 男 君
	会計管理者	知 念 弘 和 君	農林水産課長	知 念 吉 久 君
	公営企業課長	西 江 正 君	農林水産課参事	宮 里 政 喜 君
	商工観光課長	東 江 民 雄 君	福祉課長	金 城 和 廣 君
	医療保健課長	亀 里 裕 治 君	住民課長	西 江 忍 君
	総務課長補佐	山 城 直 也 君	農業委員会事務局長	宮 里 正 邦 君
議事日程及び会議に付した事件	別紙のとおり			
会議の経過	別紙のとおり			

平成28年予算審査特別委員会議事日程（第3号）

平成28年3月17日（木）午前10時00分 開 議

日程	議案番号	件名
第1	議案第11号	平成28年度伊江村診療所特別会計予算（質疑・討論・採決）
第2	議案第12号	平成28年度伊江村国民健康保険特別会計予算（質疑・討論・採決）
第3	議案第13号	平成28年度伊江村後期高齢者医療特別会計予算（質疑・討論・採決）
第4	議案第14号	平成28年度伊江村水道事業会計予算（質疑・討論・採決）
第5	議案第15号	平成28年度伊江村船舶運航事業会計予算（質疑・討論・採決）

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

ただいまから、予算審査特別委員会3日目を開会します。

(開議時刻10時00分)

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程に入ります。

日程第1 議案第11号 平成28年度伊江村診療所特別会計予算を議題とします。

これから質疑を行います。歳入、款ごとに質疑を許します。

1款、診療事業収入。1ページから2ページまで。

休憩します。

(休憩時刻10時01分)

再開します。

(再開時刻10時04分)

1番 島袋義範委員。

○ 1番 島 袋 義 範 委員

診療所会計ですね。2点目の繰入金ですけれども、繰入金は平成22年度までは4、5千万円でしたかね。平成23年からは3,000万円と、これまで5年間3,000万円で落ち着いてきていたんですけれども、そこでまた500万円上がったということですから、これ透析が始まったから、そういうことなのか。ということをして1点目。

それと2点目には、透析が始まって2カ年を経過して、だいぶ患者も落ち着いてきていると思うんですけれども、この透析を入れたことによって、経営が圧迫といいますか。村民の命を守ることだから、一般会計からも、いくら出しても村民の健康を守るためにはいいというふうに、我々は感じているわけですが、この透析の今20名ですけれども、落ち着いて透析の部分でペイしているのかなという心配があるわけです。先ほどもありましたけれども、県議との懇談会がありましたけれども、離島であるがゆえにこの一括交付金を利用して、透析診療所をつくりましたと。これは離島だからですよということで、そういうことで、離島だからどうしてもつくらなければいけない施設でつくったわけだから、皆さんそういう場合に赤字が出たら、県や国の補助も県議の皆さんにもお願いしますよという話もしましたけれども、だから透析、診療所つくることによって、この経営がどうなったのか。どうなっていく見通しなのか。その辺をお伺いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

医療保健課長 亀里裕治君。

○ 医療保健課長 亀 里 裕 治 君

島袋委員の御質疑にお答えします。

1点目の繰入金の500万円の増額については、透析の影響ではありません。今回、診療所の和式トイレを洋式トイレにかえる。あるいは洗浄機をつけたりというのが、主な要因でございます。修繕料の部分で500万円ぐらい増額になったということです。

それから透析を含めた診療所の経営の件ですが、平成27年度見込みで、ペイしています。収入、収支もほぼ一緒という感じになります。

それで繰入金も500万円増額していますが、その範囲内で運営できていけると思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

ほかに質疑ございませんか。〔「進行」の声あり〕

進行します。4款繰入金、3ページ。〔「進行」の声あり〕

進行します。5款繰越金、4ページ。〔「進行」の声あり〕

歳入、全般にわたって質疑を許します。〔「質疑なし」の声あり〕

次に、歳出、款ごとに質疑を許します。

1 款、一般管理費。1 ページから 5 ページまで。〔「進行」の声あり〕
進行してよろしいですか。2 款診療事業費、6 ページ。〔「進行」の声あり〕
進行します。3 款予備費。7 ページ。〔「進行」の声あり〕
歳出、全般にわたって質疑を許します。1 番 島袋義範委員。

○ 1 番 島 袋 義 範 委 員

診療所運営の一番のかなめは医師の確保だと思うんですけども、今後の医師の確保のめどはついているのかどうか。その辺をお願いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

医療保健課長 亀里裕治君。

○ 医療保健課長 亀 里 裕 治 君

医師の確保については、喜ばしいことに4月から常勤の先生が来ることになっております。

現在、北部地区医師会、ME S Hに所属していますが、救急を専門とする女医先生でございます。福岡県の出身でございます。1980年生まれ。お名前は、伊藤ゆい先生と申します。

専門科目は救急医療をしています。阿部先生とも面識があつて、一緒にME S Hの立ち上げから一緒にやっていますので、うまくいけると考えております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

質疑ございませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。〔「討論なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これから議案第11号 平成28年度伊江村診療所特別会計予算を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって議案第11号 平成28年度伊江村診療所特別会計予算は、原案のとおり可決されました。

日程第2 議案第12号 平成28年度伊江村国民健康保険特別会計予算を議題とします。

これから質疑を行います。

歳入、款ごとに質疑を許します。1 款国民健康保険税。10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委 員

国民健康保険税の支払い回数について、伺います。

資料の20ページによりますと、伊江村は納期回数が5回、北大東村が4回で一番少ない。その次に伊江村が5回、その他は6回、8回、多いところで11回というところもあるんですが、1回当たりの支払金額が多くて、もうちょっと分割して払ったほうが、払うほうとしては楽ではないかと思うんですが、どうでしょうか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

住民課長 西江 忍君。

○ 住民課長 西 江 忍 君

現在、国保税の納期につきましては、1期分を7月に、2期分を8月に、3期分を10月、4期分を12月、5期分を翌年の2月と定めまして納付をいただいているところでございます。納付の回数を多くすれば、負担割合は、1期当たりの負担割合は少なくなっていくのは理解しておりますが、国保税につきましては、議員各位御承知のとおり、滞納者が非常に多く滞納している方々につきましては、現在現年度の納付をお願い

しつつ、この期別のない月に分納相談、あるいは分納計画を立てまして、納付をいただいているのが現状でございます。納付のない月といたしますと、9月、11月、年明けまして1月、3月から6月にかけて、多くの滞納している方々の多くの皆さんが分納いただいている状況でございます。そのようなことから、現年度分の月数をふやすということは、負担は少なくなります、分納している方々からすると、納税する額が逆にふえることも予想されますので、この辺は国保税だけではなく、それ以外の住民税でありますとか、固定資産税も同様でございますが、もうしばらく滞納している方が納付しやすいような環境をつくりながら、ちょっと課内で時間をかけながら、上司とも調整していきたいと考えております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

住民課長からも答弁がありました、その資料を平成27年度国民健康保険の納税率市町村一覧表ということで、名嘉委員がおっしゃるとおり、ほとんどのところが7回、8回というのが、大体多い感じでもあります。委員がおっしゃるように、回数の増についても検討をすべき時期なのかなというふうには理解しております。ただ、課長がおっしゃっていたように、健康保険税以外にもいろんな村税がありますので、その辺との納期との兼ね合いの中で、先ほど言った住民課長が答弁した、未納の特例、あるいは滞納分の徴収の特例とあわせた中で、ほかの村税の納期も含めて、あるいは県税の納期も含めた中で、どのぐらいのこの5回からまた月ですね。徴収する月とかができるのかどうなのか。担当課で十分に調査研究をさせたいというふうに思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

- 1 款、ほかにございませんか。〔「進行」の声あり〕
- 進行します。2 款使用料及び手数料。〔「進行」の声あり〕
- 進行します。3 款国庫支出金。3 ページから4 ページ。〔「進行」の声あり〕
- 進行します。4 款療養給付費交付金。〔「進行」の声あり〕
- 進行します。5 款前期高齢者交付金。〔「進行」の声あり〕
- 進行します。6 款県支出金。〔「進行」の声あり〕
- 進行します。7 款共同事業交付金。〔「進行」の声あり〕
- 進行します。8 款繰入金。10 ページから11 ページ。〔「進行」の声あり〕
- 進行します。9 款繰越金。〔「進行」の声あり〕
- 進行します。10 款諸収入。13 ページから16 ページまで。
- 歳入、全般にわたって質疑を許します。〔「質疑なし」の声あり〕
- 進行します。歳出、款ごとに質疑を許します。
- 1 款総務費。1 ページから3 ページまで。〔「進行」の声あり〕
- 進行します。2 款保険給付費。4 ページから7 ページ。〔「進行」の声あり〕
- 進行します。3 款後期高齢者支援金。〔「進行」の声あり〕
- 進行します。4 款前期高齢者納付金。〔「進行」の声あり〕
- 進行します。5 款老人保健拠出金。〔「進行」の声あり〕
- 進行します。6 款介護納付金。〔「進行」の声あり〕
- 進行します。7 款共同事業拠出金。〔「進行」の声あり〕
- 進行します。8 款保健事業費。〔「進行」の声あり〕
- 進行します。9 款基金積立金。〔「進行」の声あり〕

進行します。10款公債費。〔「進行」の声あり〕

進行します。11款諸支出金。〔「進行」の声あり〕

進行します。12款前年度繰上充用金。〔「進行」の声あり〕

進行します。13款予備費。〔「進行」の声あり〕

進行します。2款使用料及び手数料。

歳出、全般にわたって質疑を許します。

質疑ございませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。〔「討論なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これから議案第12号 平成28年度伊江村国民健康保険特別会計予算を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって議案第12号 平成28年度伊江村国民健康保険特別会計予算は、原案のとおり可決されました。

日程第3 議案第13号 平成28年度伊江村後期高齢者医療特別会計予算を議題とします。

これから質疑を行います。

歳入、款ごとに質疑を許します。1款後期高齢者医療保険料。〔「進行」の声あり〕

進行します。2款使用料及び手数料。〔「進行」の声あり〕

進行します。4款繰入金。〔「進行」の声あり〕

進行します。5款繰越金。〔「進行」の声あり〕

進行します。6款諸収入。5ページから8ページ。〔「進行」の声あり〕

歳入、全般にわたって質疑を許します。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。歳出、款ごとに質疑を許します。

1款総務費。〔「進行」の声あり〕

進行します。2款後期高齢者医療広域連合納付金。〔「進行」の声あり〕

進行します。3款諸支出金。3ページから4ページ。〔「進行」の声あり〕

進行します。4款予備費。〔「進行」の声あり〕

歳出、全般にわたって質疑を許します。

質疑ございませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。〔「討論なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これから議案第13号 平成28年度伊江村後期高齢者医療特別会計予算を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって議案第13号 平成28年度伊江村後期高齢者医療特別会計予算は、原案のとおり可決されました。

日程第4 議案第14号 平成28年度伊江村水道事業会計予算を議題とします。

これから質疑を行います。

収益的収入、一括して質疑を許します。

11款水道事業収益。15ページ。〔「進行」の声あり〕

進行します。収益的支出、一括して質疑を許します。〔「進行」の声あり〕

進行します。21款水道事業費用。16ページから18ページ。〔「進行」の声あり〕

次、資本的収入及び支出、一括して質疑を許します。

31款資本的収入。19ページ。

41款資本的支出。20ページ。

歳入、歳出、全般にわたって質疑を許します。〔「質疑なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。〔「討論なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これから議案第14号 平成28年度伊江村水道事業会計予算を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって議案第14号 平成28年度伊江村水道事業会計予算は、原案のとおり可決されました。

日程第5 議案第15号 平成28年度伊江村船舶運航事業会計予算を議題とします。

これから質疑を行います。

収益的収入、一括して質疑を許します。

11款船舶運航事業収益、15ページから16ページ。〔「進行」の声あり〕

進行します。収益的支出、一括して質疑を許します。

21款船舶運航事業費用、17ページ22ページ。

5番 内間広樹委員。

○ 5番 内 間 広 樹 委 員

20ページの委託料に関連してお伺いします。

先日の説明で、伊江村ホームページ拡充強化事業で券売機を設置するということがあったんですが、もう少し細かく説明していただければと思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

公営企業課長 西江 正君。

○ 公営企業課長 西 江 正 君

現在運用しております離島割引券システムモデル事業というのを行っておりますけれども、それとあわせて、伊江村ホームページサービス拡充強化事業ということで、総務課が主でございますけれども、公営企業もその中に入れて、取り入れていただきまして、券売機を設置していきたいという事業でございます。この券売機といいますのが、JAのATMを想像していただければ結構かなと思っておりますけれども、その券売機でクレジットカード、または電子マネー、E d yでありますとか、S u i c a等も利用できるような構築を今、進めておりまして、それに係る事業でございます。現在の割引システム事業とあわせて、お客さまの利便性の向上を図ってまいりたいと考えております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

5番 内間広樹委員。

○ 5番 内 間 広 樹 委 員

今、村民が持っている割引カードがありますよね。それはこの券売機では使用はできないということですか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

公営企業課長 西江 正君。

○ 公営企業課長 西江 正君

今村民が持っていらっしゃる割引カード、それを券売機にかざしていただく。そうすると画面がいろいろと変わってきます。そういったことを操作していく券売機になってまいります。離島割引カードは当然必要だということでもあります。

○ 委員長 渡久地 政雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間 常喜 君

今現在使っているこの離島割引カードにQRコードがございますので、今現在はこの船舶から委託を受けている業者が窓口におりまして、それをかざして本人を確認できるわけです。それが機械でできるということで、人がいなくてもその自販機的なことでそれをかざしていただければ、本人確認をし、割引料金で購入できると。

それは例えば外人もたくさんいらっしゃいますので、外国人の方々がこのクレジットカードとか、そういったものを利用すれば、それも活用できるようなシステムということで、導入を今試みているところでございます。

○ 委員長 渡久地 政雄 君

5番 内間広樹委員。

○ 5番 内間 広樹 委員

今、従来の窓口は窓口であって、さらにそういうカードを使った券売機システムをつくるということで、さらにスムーズに券売をするということで理解してよろしいですか。

例えば、先ほど説明あったように、難しい操作となると年配の方々、なかなか操作できないと思うんですよ。そういった方々は従来のように窓口で、同じような体制でやるということですね。わかりました。

○ 委員長 渡久地 政雄 君

公営企業課長 西江 正君。

○ 公営企業課長 西江 正君

御指摘のとおりでございます。現行のQRコードをかざしての乗船券の購入、またはそれに合わせまして、新たな自販機を設置するというので、二本立てということでございます。

○ 委員長 渡久地 政雄 君

休憩します。

(休憩時刻10時36分)

再開します。

(再開時刻10時40分)

質疑ございませんか。〔「進行」の声あり〕

進行します。次、資本的収入及び支出、一括して質疑を許します。

31款、資本的収入。23ページ。1番 島袋義範委員。

○ 1番 島袋 義範 委員

建設改良費、船舶建造費に関連してお伺いしたいと思います。

フェリーの代船建造スケジュールが、先ほど議会前の全員協議会の中で発表されましたけれども、今回、フェリー建造検討委員会というのが立ち上げされておまして、議会からは議長という職名で私、そして知念一邦議員は委員長ということで、委嘱されまして、これまで3回でしたかね。委員会に参加させていただいておまして、私どもも村民からの要望、あるいはこれまでの船を検討して、こうこうあったほうがいいんじゃないかという御意見を申し上げたわけですがけれども、例年ですと、このフェリー建造があると、議会

内部で特別委員会、調査委員会が設置されて、これまで議員全員の皆さんから意見を伺う、また我々も調査するという機会があったわけですが、何か今回は、これまでは自前の船舶建造でしたけれども、今回はリースをするということで、個々の議員がこの建造に当たって、いろいろと御意見を申し上げる機会がないのかなという感じを、私受けておまして、村長として議会内で特別委員会をつくるのは、議会のことではありますけれども、そういう雰囲気は今はないと。ちょっと議会個々の皆さんの御意見を発表するチャンスがないなということで、心配をしておりますけれども、村長どういふふうにお考えでしょうか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

県の事業を活用するという中で、今回これまで伊江村としては離海振を活用しないで自前でやってきましたが、議長も公営企業委員長も御存じのとおり、今回は県の一括交付金を活用した事業を活用するという段階で、離海振をどうしても活用しないといけないという部分になっているところではありますが、私はこれまでどおり、議会は議会として特別委員会を立ち上げて、広く議員の皆さんの意見をこの中に反映させていくべきだと思っております。ぜひその辺の部分を持ち上げて調査、研究をしていただいて、委員会でも申し上げて、離海振の屋富祖部長も委員として参画をしておりますが、そういう中で伊江村の意向は十分踏まえて、離海振として船の建造に当たっていきいたいという基本的な考え方を述べられていますので、ぜひ議会は議会として、村民の代表として、そのフェリー建造に当たって、いろんな角度から、こう意見を申し上げて、そこに反映させていくという部分は大きな役割だと思っております。ぜひ特別委員会を設置し、調査研究をしていただいて、私たち村、あるいは離海振のほうに、意見を具申するような感じで臨んでいただきたいと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

1 番 島袋義範委員。

○ 1 番 島 袋 義 範 委員

本来からいえば、平成26年度の末か平成27年度のこれ特別委員会を設置して、調査に入るべきだったというふうに思っています。既に4月、5月、6月になると、業者の選定にも入るといふふうなスケジュール、この前発表もありましたけれども、そういう段階になっていますので、遅きになったかなという感じは否めませんが、これからは私ども議会として、村民の声を聞いて反映をしていくという機会をつくりたいという、私個人的には思っていますので、そういう場合はまた村長の御協力も、御指導もお願いしたいと思っております。今質疑をしているわけです。そういうことで特別委員会をつくるか、つくらないかは、また我々議運をはじめ、皆さんと相談をしていきいたいと思っておりますけれども、そのときはまたぜひ一緒に調査していきたいと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

島袋委員のただいまの御質疑の内容に沿って、ぜひ議会は議会として、その辺の対応をしていただきたいと思っております。特にこの要目の緒元の機械とか、推進機関とかという部分ではなくて、やはり客席とか、使い勝手がいいような部分に対して、議員の皆さんからいろんな角度から意見をこう申し述べて、利用者が満足できるようなフェリーをつくっていけるように、村としても頑張っていきたいと思っております。議会と連携を図りながら、いいフェリーをつくっていきたいと思っておりますので、また今後ともひとつよろしくお願いをしたいと思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

1番 島袋義範委員。

○ 1番 島 袋 義 範 委員

村長の御意見を伺って、安堵をしておりますけれども、この審議会の中でも検討委員会の中でも、私が申し上げましたのは、第1点目は座席の件ですね。これまでの5列は、両端に座られると、真ん中が空いてしまうと。中に入りにくいと。だから3列にしたほうがいいんじゃないかという意見と。あと荷物を置く棚をぜひ欲しいというふうに2、3点申し上げましたが、この2点が大きい私の希望でしたけれども、それは検討するというふうになっておりますけれども、これは私個人の意見ですので、やはり知恵を出し合うというのは、たくさんの皆さんで議論をし合うということになると、たくさんの御意見が出るかもしれないので、その辺は議会議員の、議会の意見を柔軟に対応をしていただきたいなと、リースだからということではなく、将来は伊江村の財産になるわけだから、ぜひ我々の意見も全体の意見も聞きたいなと、また生かしていただきたいと思っています。よろしくをお願いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

島袋委員のおっしゃるとおりだと思いますし、もう1点は、やはり委員の皆さんも村民から、あるいは支持者の皆さんが、「今回つくるフェリーについて、どのような感じになっていきますか」と聞いたときに、なかなか答えられないという部分になると非常に不都合ですので、委員会を立ち上げて、調査、先進地に視察も行きながら、なおかつ離海振とかを招聘して、勉強しながら、こういう感じで今回のフェリーは進んでいる。あるいは客席とか、その辺の部分はそうですというふうに、ちゃんと答えられるように、各議員の皆さんもそういう意味でも、委員会は必要だと思っておりますので、ぜひ議会として対応していただきたいと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

31款、質疑ございませんか。〔「進行」の声あり〕

進行します。歳入、歳出、全般にわたって質疑を許します。〔「進行」の声あり〕

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。まず原案に反対する者の発言を許します。

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

平成28年度伊江村船舶運航事業会計予算（案）に反対する立場から討論を行います。

本予算案にも例年同様、米軍車両及び米兵の航送計画が組み込まれています。私は船舶運航事業で米軍車両及び米兵の航送をしないよう求め、反対し続けてきましたが、本予算案についても、同様の理由で反対します。

1月26日、米軍は海兵隊の大規模訓練に使用する物資運搬のために、LCU米陸軍揚陸艇2隻を伊江港に入港させました。同日の本部発1便で、海兵隊約90人を運び、下船した海兵隊が基地まで行軍し、村民を驚かせました。この件に関して、議会は米軍に対する抗議決議と、政府関係機関に対する意見書を可決し、申し入れも行いました。

私は海兵隊の行軍をなくすためにも、フェリーによる米軍の航送はやめるべきではないかと質疑しましたが、村長は「一般旅客運送法で乗船は拒否できない」と答弁しました。米軍を一般旅客と同様に見る人は、一体どのぐらいいるのでしょうか。白を黒と言っていることと、全く同じ見解だと私は思います。本予算案で

も米軍の航送も含まれていますが、米軍の航送計画の撤回を求め、反対討論とします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

次に原案に賛成する者の発言を許します。5番 内間広樹委員。

○ 5番 内 間 広 樹 委員

平成28年度伊江村船舶運航事業会計予算（案）の賛成討論を行います。

昭和48年より、県内初のフェリーいえしまが就航し、2年後の昭和50年にフェリーぐすくが就航、県内離島で例のないフェリー2船体制による、安全運航で今日まで村民生活を支え、また村産業振興に寄与してきました。平成24年3月よりバリアフリー化した新造船いえしまが就航し、快適な船旅を提供していますが、建造より24年目を迎えるフェリーぐすくは老朽化が見られ、代船建造が求められています。代船建造委員会では具体的に協議を重ね、沖縄振興特別推進交付金の離島航路、運航安定化支援の活用による代船建造を国、県等と連携を図りながら、早期の就航を目指して取り組んでいるとのことであり、1日も早い新船の就航を望むところであります。

また、平成27年度より乗船券購入時の券売が、システムモデル事業とし、コード読み取り式の券売となり、これまでよりスムーズな券売がなされ、平成28年度より伊江村ホームページ拡充事業で券売機を設置し、さらなる券売のスリム化が図られるものと期待しているところであります。今後とも海事職、企業職、共同のもと健全運営、安全運航を最優先に努めていただきますようお願いを申し上げ、平成28年度伊江村船舶運航事業会計予算（案）に対する賛成討論といたします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

ほかに討論はありませんか。〔「討論なし」の声あり〕

これで討論を終わります。

これから議案第15号 平成28年度伊江村船舶運航事業会計予算を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。〔起立多数〕

起立多数です。したがって議案第15号 平成28年度伊江村船舶運航事業会計予算は、原案のとおり可決されました。

以上で、本委員会に付託された議案の審査は、全部終了しました。

これで会議を閉じます。

予算審査特別委員会を閉会します。

(閉会時刻10時54分)